

# みはら情景 わがしの思い出

## 帝人通り



映画館もあった、昭和30年代の帝人通り



現在では、さんさん土曜日などのイベントで、地域の交流が図られています

時代とともに見つめ続けた商店街



坂本ハツ子さん  
(港町一丁目)

「今でも、一人で電車に乗って出かけるんですよ」

駅から南に向かう多くの会社員の通り道であった帝人通り。飲食店や日用品を扱う店のほか、映画館、郵便局などもあり、戦後は特に、行き交う人でにぎわいを見せました。

今月で91歳になる坂本ハツ子さんは、昭和11年、夫婦で寿司屋を開業しました。「世が明けるまで帰らないお客さんも多くて、つい居眠りをしてしまったこともありまして」と、会社帰りの常連さんが多かったころの思い出を語ります。しかし、戦争中はお米がなくて、県庁で配給を受けたという苦労話も。

昔は帝人通りに青果市場が立っていて、よく利用したといいます。「現在は、月に一回のさんさん土曜日が開かれていますね。良い品が多い市だと思います。帝人通りの活性化につながればいいですね」と期待を寄せます。車が少なかった頃は、子どもどうしが走り回って遊んでいました。最近では、お母さんに手を引かれた子どもが多いといいます。「物騒なニュースを聞くとき悲しくなります。私も子どもたちを守るために、何か役にたてたいいなあと思っているんです」と、元気に語ってくれました。

お問い合わせ先 財団法人スポーツ安全協会 広島県支部  
(県教育委員会 内)

082・2  
23・7  
865)



### 市民憲章

わたしたちは、海・山・空、夢ひらくまち三原をめざして、この憲章を定めます。

- 豊かな自然をいかし、美しいまちにしよう。
- 歴史と文化を大切にし、人をほくむまちにしよう。
- みんなで助け合い、かみふれあいまちをしよう。
- 心もからだも健康で、明るいまちをしよう。
- 楽しく働き、活力あまをしよう。

---

### スポーツ安全保険

スポーツやボランティア活動などを安心して行えるよう、スポーツ安全保険を利用してください。

加入資格 5人以上のアマチュア  
ユアの団体やグループ  
対象となる事故 団体活動中の事故、その往復中の事故  
掛金(一人年額) 子どもも500円 文化・ボランティア活動を行う大人500円  
スポーツを行う大人1,500円など

保険期間 4月1日(土)～翌年3月31日(土)

申し込み期間 3月1日(水)～随時

### 三原市の人口

(1月31日現在)

世帯数	42,831世帯(+262)
人口	105,467人(-478)
男	50,515人(-177)
女	54,952人(-301)

( )内は前年同月、合併前の総数との比較

### あとがき

先日、駅で心温まる場面に出くわしました。お母さんと一緒に歩いていた小学校低学年くらいの男の子が、切符の買い方が分からなくて困っている外国人の老夫婦に、声をかけて助けてあげていました。言葉は通じないようでしたが、最後は笑顔で手を振り合っていました。旅先で、見ず知らずの人に助けられたことは、いつまでも忘れないものです。この男の子の、困っている人を助けたいという優しさ、見習いたいですね。そして言葉が通じなくても動じない勇氣は、国際性の第一歩なのではないでしょうか。今月19日、中央公民館で、みはら国際交流フェスタが開催されます。皆さんも異文化理解を深めてみませんか?

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。